



代表質問

政権交代と新政権

萩野 虔一 議員

(新政みえ／熊野市・南牟婁郡選出)

問

地方分権の時代ですが、中央政権の在り方は地方に深い影響と関連性を持っており、政権交代の持つ意味は極めて大きいものです。知事は、今回の政権交代の意味や意義について、どうとらえているのでしょうか。

また、新政権はマニフェストによる施策を次々に打ち出し、さら

に行政刷新会議による事業仕分けなど、国民の注目を集めています。これまでの政権運営に対する総体的な認識を伺います。

答

今回の政権交代は、将来に対する不安や閉塞感が漂っている中で、多くの国民の皆さんが政治の展開や政策の方向が抜本的に変化していくような「チェンジ」を選択したのではないかと認識しています。

新政権では、「友愛」「国民生活」を第一とする「政治」などの実現に取り組むことが示されましたが、「県民しあわせプラン」の基本理念と同様の方向にあり、期待を持っています。

その他の質問事項
○県政の課題



地域医療体制の整備

貝増 吉郎 議員

(自民みらい／桑名市・桑名郡選出)

問

地域医療を取り巻く環境は、医師・看護師不足などにより不安が高まっており、県民が安心して暮らせる医療提供体制の整備が求められて

います。

県政運営方針案では、従来の対策に加え、「①地域医療再生計画」の取り組みにより施策を展開するとしています。地域医療は崩壊の危機にあり、その再生は待ったなしの状況です。県民が安心して暮らせる地域医療体制の整備にどう取り組むのか、知事の決意を伺います。

答

医師確保対策や医療提供体制の整備が喫緊の課題であり、従来の取り組みに加え、地域の実情を踏まえ、新たな発想で積極的に取り組む必要があります。

このため、地域医療再生計画では、臨床研修病院の魅力向上や、地域医療で活躍する医師の活動支援など、医師の定着促進と偏在解消に向けた取り組みを盛り込みました。



今後、地域での取り組みを支援しながら、持続可能な医療提供体制の早期実現に取り組めます。

その他の質問事項

○新政権の動向と景気動向への県の対応 ほか

一般質問

緊急雇用・経済対策推進方針

前田 剛志 議員

(新政みえ／津市選出)

問

平成21年度三重県緊急雇用・経済対策推進方針は、公共事業の執行の前倒しなど緊急避難的な内容であり、現状では物足りない方針となっています。

雇用経済情勢の悪化の長期化が見込まれる中、県としてできる経済の底支えが必要です。県の財政も厳しい状況ですが、現状にあった戦略的な方針を立て、予算も重点的に投資すべきと考えますがいかがですか。

答

雇用経済対策を来年度先課題と位置付け、緊急雇用経済対策枠を設け、予算編成作業を進めています。

推進方針は、情勢の変化などを踏まえ、予算編成過程での見直しあるいは新たな方針の策定を行い、地域の実情に応じた効果的な対策を講じていきたいと考えています。



その他の質問事項
○地球温暖化対策の充実を ほか

文中の傍線部分については、4ページに用語解説を掲載しております。